

健康社会医学

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
准教授	1 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	1 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員（訪問共同研究員、特別奨励研究員を含む）	6 人	
大学院学生（うち他講座から）	9 人	(0 人)
研究生	3 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	2 人	
合計	23 人	

2 教員の異動状況

尾島 俊之（教授）（H18.4.1～現職）
 中村 美詠子（准教授）（H24.4.1～現職）
 野田 龍也（助教）（H19.4.1～H 26.3.31）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	15 編	(6 編)
そのインパクトファクターの合計	12.69	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	4 編	(4 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	9 編	(9 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Hasegawa T, Murata C, Ninomiya T, Takabayashi T, Noda T, Hayasaka S, Nakamura M, Ojima T :
Occupational factors and problem drinking among a Japanese working population, Industrial Health,

51(5), 490-500, 2013. [0.870]

2. Yasuda T, Ojima T, Nakamura M, Nagai A, Tanaka T, Kondo N, Suzuki K, Yamagata Z : Postpartum smoking relapse among women who quit during pregnancy: cross-sectional study in Japan, J Obstet Gynaecol Res, 39(11), 1505-1512, 2013. [0.841]
3. Haraoka T, Hayasaka S, Murata C, Yamaoka T, Ojima T : Factors related to furniture anchoring: a method for reducing harm during earthquakes, Disaster Med Public Health Prep, 7(1), 55-64, 2013, doi: 10.1017/dmp.2013.35. [1.141]
4. Hayasaka S, Goto Y, Maeda-Yamamoto M : The effects of bathing in hot springs on the absorption of green tea catechin: A pilot study, Complement Ther Clin Pract, 19(4), 243-245, 2013, doi:10.1016/j.ctcp.2013.06.001, 2013.
5. Hayasaka S, Horiguchi I, Kawaminami K, Watanabe H, Marui E : Proportion and background factors of the general public's utilization of balneotherapy at non-medical facilities: A cross-sectional study in Japan. J Jpn Soc Balneol Climatol Phys Med, 77, 159-169, 2014.
6. 仲村秀子, 尾島俊之, 中村美詠子, 鈴木孝太, 山縣然太朗, 橋本修二 : 東日本大震災前後の被災県の出生率・男児出生割合・低出生体重児割合の変化, 東海公衆衛生雑誌, 1, 71-75, 2013.
7. 杉浦 和子, 中村 美詠子, 尾島 俊之 : 看護師養成課程における倫理教育について 東海4県の助産師学生調査より, 静岡県母性衛生学会誌, 3(1) : 19-25, 2013.

インパクトファクターの小計 [2.852]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. Nonaka J, Nakamura M, Shiraki M, Ojima T : Reproducibility and relative validity of food frequency questionnaire in Japanese elementary school children, The Asian Journal of Child Care, 4, 59-69, 2014.
 2. Yano Y, Kario K, Ishikawa S, Ojima T, Gotoh T, Kayaba K, Tsutsumi A, Shimada K, Nakamura Y, Kajii E : Associations between diabetes, leanness, and the risk of deaths in the Japanese general population: The Jichi Medical School Cohort Study. Diabetes care, 36(5), 1186-1192, 2013. [7.735]
doi: 10.2337/dc12-1736.
 3. Goto Y, Hayasaka S, Nakamura Y : Health effects of seasonal bathing in hot water, seasonal utilization of hot spring facilities, and high green tea consumption. J Jpn Soc Balneol Climatol Phys Med, 77, 171-181, 2014.
 4. Watanabe H, Kikkawa I, Madoiwa S, Sekiya H, Hayasaka S, Sakata Y : Changes in blood

coagulation-fibrinolysis markers by pneumatic tourniquet during total knee joint arthroplasty with venous thromboembolism. The Journal of Arthroplasty, 29, 569-573, 2014. [2.110]

5. 橋本修二, 川戸美由紀, 山田宏哉, 世古留美, 村上義孝, 早川岳人, 林正幸, 加藤昌弘, 野田龍也, 尾島俊之, 遠又靖丈, 辻一郎: 健康日本 21 (第 2 次) の目標を考慮した健康寿命の将来予測, 日本公衆衛生雑誌, 60(12), 738-44, 2013.
6. 斉藤 雅茂, 近藤 克則, 尾島 俊之, 近藤 尚己, 平井 寛: 高齢者の生活に満足した社会的孤立と健康寿命喪失との関連 AGES プロジェクト 4 年間コホート研究より, 老年社会科学, 35(3), 331-341, 2013.
7. 谷原真一, 西連地利己, 野田龍也, 徳本史郎, 上原里程, 山縣然太郎, 尾島俊之: 電子レセプトにおける未コード化傷病名の分布, 厚生指標, 60(4), 20-25, 2013.
8. 藤山快恵, 宇津木志のぶ, 中村美詠子: 静岡県西部地域の糖尿病有病者及び予備群の実態と関連要因に関する検討〜平成 22 年度特定健康診査データから〜, 1, 76-82, 2013.
インパクトファクターの小計 [9.845]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 尾島俊之: SDH (Social Determinants of Health) に関する研究, 東海病院管理学研究会年報, 39-42, 2013.
2. 尾島俊之, 近藤克則, 米澤純子: 健康づくりに必要な「社会環境の改善」「健康格差の縮小」にどう取り組むか, 保健師ジャーナル, 69(4), 304-311, 2013.
3. 中村美詠子, 尾島俊之: 食事パターンと循環器疾患予防, 日本循環器病予防学会誌, 49(1), 12-18, 2014.
4. 徳本 史郎, 尾島 俊之: 災害医療マネージメント CSCA 災害カルテの統一, 救急医学, 37(1), 29-34, 2013.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 尾島俊之: 保健医療制度と医療資源, 日本における公衆衛生に関連する行政の流れ, 柳川洋, 中村好一編集, 公衆衛生マニュアル 2013, 南山堂, 2013.
2. 尾島俊之: 人口動態統計, 田中平三編集, これからの公衆衛生学 社会・環境と健康, 南江堂, 2013.

3. 尾島俊之：健康寿命の延伸，健康格差，他．大井田隆，兼板佳孝，横山徹爾，曾根智史，山縣然太郎，水嶋春朔，尾島俊之，青山旬，谷原真一，中山健夫，吉池信男，小橋元，大橋正，服部和夫，八木晴美，網野茂貴，藤村由起子，図説 国民衛生の動向 2013/2014，一般財団法人厚生労働統計協会，2013.
4. 尾島俊之：精神疾患，外因（自殺，不慮の事故，虐待・暴力），田中平三，徳留信寛，辻一郎，吉池信男編集，社会・環境と健康，南江堂，2014.
5. 早坂信哉：注目すべきは温泉の“総合的生体調整作用”一度は行きたい！日本の絶景温泉，洋泉社，58-61,2014.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの

1. 柳川洋，尾島俊之，北村邦夫，中村好一，倉田貞美，近藤今子，巽あさみ，千原泉，坪井聡，坪見利香，中村美詠子，西山慶子，原岡智子，水田明子，渡辺晃紀：保健指導ノート2014 公衆衛生の現状，日本家族計画協会，2013.
2. 赤澤宏平，今村知明，大磯義一郎，大嶽浩司，岡田加奈子，岡本悦司，尾崎米厚，小澤温，尾島俊之，兼板佳孝，川上憲人，小風暁，小橋元，高宮有介，西浦博，福永龍繁，村上義孝，安村誠司，柳澤裕之，山本秀樹，吉池信男，横田裕行監修：公衆衛生がみえる，メディックメディア，2014.
3. 後藤康彰，早坂信哉，栗原茂夫：健康づくりハンドブック健康入浴温泉編，一般財団法人日本健康開発財団温泉医科学研究所，2013.
4. 衛藤英男，富田勲，榛村純一，伊勢村護，原征彦，横塚英彦，山本（前田）万里編，浅川倫宏，池田都男，池田克巳，池田雅彦，石井剛志，川上美智子，菅敏幸，木苗直秀，木幡勝則，石田均司，石丸幹二，伊勢村護，磯博康，一家崇志，岩間眞知子，海野けい子，衛藤英男，大島佳奈，奥直人，小園伊太郎，開設邦宏，春日久栄，栗山進一，小柳道啓，酒居一雄，佐久間正，笹月静，佐藤崇紀，佐野満昭，茶山和敏，島村裕子，清水広介，清水雅仁，金谷節子，鈴木隆，鈴木拓，丸山皆子，高瀬秀人，竹内征夫，三浦大典，竹元万寿，宮瀬敏男，立花宏文，宮田裕，田中一成，田淵正樹，三好規之，塚田秀夫，津金昌一郎，宗像浩，物部真奈美，常吉俊宏，森田明雄，角田隆巴，森脇久隆，時光一郎，富田勲，八木信明，内藤裕二，中村好志，山下修矢，中村順行，長谷正，山田静雄，中山勉，山田貴史，山田浩，根角厚司，山本（前田）万里，野田龍也，半田修，横越英彦，阪中専二，吉川敏一，藤村由紀，吉川雅之，割石博之，増田修一，松浦寿喜著：『新版 茶の機能』，第2章「インフルエンザ・かぜ予防」，農文協，166-172，2013.

（5）症例報告

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成25年度	
（1）文部科学省科学研究費	6件	（510万円）
（2）厚生労働科学研究費	7件	（764万円）
（3）他政府機関による研究助成	1件	（231万円）

(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

尾島俊之（代表）基盤（C）23590786 アセット・モデルによる公衆衛生施策に関する基礎的及び実践的研究 平成23～25年度, 800,000円（継続）

中村美詠子（代表）基盤研究（C）25460744 食に関する社会的弱者対策：フード・インセキュリティに関する探索的研究, 平成25～27年度, 2,300,000円（新規）

野田龍也（代表）若手研究（B）23790689 小児におけるうがいと感染症の予防等に関する実証研究, 平成23年度～25年度, 1,400,000円（継続）

尾島俊之（分担）基盤（B）22330172 心理社会面に着目した認知症の予防的福祉に向けた縦断研究, 研究代表者 星城大学 竹田徳則, 平成22年度～平成26年度, 100,000円（継続）

尾島俊之（分担）基盤（A）23243070 社会的排除としてのwell-being格差とソーシャル・キャピタルの研究, 研究代表者 日本福祉大学 近藤克則, 平成23年度～平成26年度, 200,000円（継続）

尾島俊之（分担）基盤（A）25253052 高齢者における健康の社会的決定要因に関する大規模パネル調査, 研究代表者 東京大学 近藤尚己, 平成25年度～平成26年度, 300,000円（継続）

(2) 厚生労働省科学研究費

尾島俊之（代表）H24-地球規模一般-009 健康の社会的決定要因に関する研究, 平成24年度～平成26年度, 4,885,000円

野田龍也（分担）H24-医療-指定-035 救急医療体制の推進に関する研究, 研究代表者：東京臨海病院 山本保博, 平成24年度～平成25年度, 120,000円

尾島俊之（分担）H25-循環器等（生習）-指定-022 社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究：NIPPONDATA80/90/2010, 研究代表者：滋賀医科大学 三浦克之, 平成25年度～平成29年度, 500,000円

尾島俊之（分担）H24-健危一般-001 質の高いサービスを提供するための地域保健行政従事者の系統的な人材育成に関する研究, 研究代表者：国立保健医療科学院 橘とも子, 平成24年度～平成25年度, 432,000円

尾島俊之（分担）H24-統計-一般-006 東日本大震災等の大災害と保健医療統計の分析・評価・推計に関する研究, 研究代表者：藤田保健衛生大学 橋本修二, 平成24年度～平成26年度, 900,000円

尾島俊之（分担）H25-長寿一般-003 介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究, 研究代表者：日本福祉大学 近藤克則, 平成25年度～平成27年度, 100,000円

尾島俊之（分担）H25-次世代一般-002 「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究, 研究代表者：山梨大学 山縣然太郎, 平成25年度

～平成 27 年度, 700,000 円

(3) 他政府機関による研究助成

中村美詠子 (分担) (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 機能性を持つ農林水産物・食品開発プロジェクト:「 β -クリプトキサンチンの抗メタボ効果等に着目した柑橘及びその加工食品の開発」中課題名「 β -クリプトキサンチンと動脈硬化に関する縦断解析及びヒト介入試験」, 研究代表者: (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 カンキツ研究領域興津拠点 杉浦実, 平成 25～27 年度, 2,305,000 円 (新規)

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	1 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	2 件	7 件
(3) 学会座長回数	0 件	4 件
(4) 学会開催回数	0 件	1 件
(5) 学会役員等回数	0 件	15 件
(6) 一般演題発表数	1 件	

(1) 国際学会等開催・参加

1) 国際学会・会議等の開催

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

Nakamura M: Consumption of dairy products on CVD risk, IDF World Dairy Summit 2013, Yokohama (Japan), Oct 2013.

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

Ojima T: Healthy Life Expectancies in Japan. Joint Action European Health and Life Expectancy Information System. The 2st Enlarged Steering Committee Meeting, Paris (France), 18 April 2013.

Ojima T, Hashimoto S, Tsuji I, Tsutsui H, Noda T, Nakamura M, Kondo K, Lagergren M, Van Oyen H, Robine JM: Healthy Life Expectancy in Japan and comparison with EU. 6th European Public Health Conference, Brussels (Belgium), 13-16 Nov 2013.

4) 国際学会・会議等での座

5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

Hayasaka S, Goto Y, Ojima T, Nakamura Y: Bathtub bathing to promote health in Japan: A population-based study of bathtub bathing habits. The International Union for Health Promotion and Education (IUHPE) and Thai Health Promotion Foundation (Thai Health) In Thai, Pattaya (Thailand), 25-29 Aug 2013.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

第 59 回東海公衆衛生学会学術大会（大会長：掛川市長）

2) 学会における特別講演・招待講演

尾島俊之：健康寿命と健康格差の社会的決定要因 ～食が貢献できること～，第 2 回日本栄養改善学会東海支部会学術総会，浜松，2013 年 6 月 30 日．

3) シンポジウム発表

尾島俊之：小児保健医療の課題の最終評価，第 72 回日本公衆衛生学会総会，三重，2013 年 10 月 23～25 日．

尾島俊之：Urban HEART を使ったベンチマークの指標とシステム，第 51 回日本医療・病院管理学会学術総会，京都，2013 年 9 月 27-28 日．

尾島俊之：現代社会における母子の健康・栄養課題 次期「健やか親子 21」策定に向けて，日本栄養改善学会 関東・甲信越支部会第 1 回学術講演会，東京，2014 年 2 月 23 日．

尾島俊之：J A G E S プロジェクトの到達点 ～実践活動と政策への貢献～，日本福祉大学健康社会研究センターシンポジウム，名古屋，2013 年 12 月 8 日．

尾島俊之：医学部社会医学系教室としての教育における課題，平成 25 年衛生学公衆衛生学教育協議会シンポジウム，京都，2013 年 12 月 7 日．

尾島俊之：健康寿命日本 1 のための住宅の重要性，健康・省エネシンポジウム in 静岡，静岡，2013 年 11 月 30 日．

中村美詠子：栄養素と循環器疾患 食事パターンと循環器疾患予防，第 49 回日本循環器病予防学会 日本循環器管理研究協議会総会，金沢，2013 年 6 月 14 日．

4) 座長をした学会名

尾島俊之 第 72 回日本公衆衛生学会総会

尾島俊之 第 59 回東海公衆衛生学会学術大会

尾島俊之 第 50 回静岡県公衆衛生研究会

中村美詠子 第 86 回日本産業衛生学会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

尾島俊之 日本循環器病予防学会（理事）

尾島俊之 日本疫学会（評議員）

尾島俊之 日本公衆衛生学会（評議員），（地方試験委員会委員）

尾島俊之 日本栄養改善学会（評議員）

尾島俊之 東海公衆衛生学会（理事）

尾島俊之 日本産業衛生学会（代議員）
 尾島俊之 日本産業衛生学会東海地方会（理事）
 尾島俊之 日本多施設共同コホート(J-MICC)研究 モニタリング委員（日本疫学会からの推薦）
 尾島俊之 第59回東海公衆衛生学会学術大会実行委員会・実行委員長
 中村美詠子 日本疫学会（評議員）
 中村美詠子 日本栄養改善学会（評議員）
 中村美詠子 日本栄養改善学会東海支部会（幹事）
 中村美詠子 東海公衆衛生学会（評議員）
 中村美詠子 第59回東海公衆衛生学会学術大会 実行委員会・学術事務局
 中村美詠子 第2回日本栄養改善学会東海支部会学術総会 実行委員会・学術部委員長

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	1 件	0 件

（1）国内の英文雑誌等の編集

早坂信哉 J Jpn Soc Balneol Climatol Phys Med 編集委員 PubMed/Medline 無 IF 無

（2）外国の学術雑誌の編集

（3）国内外の英文雑誌のレフリー

尾島俊之 3 回 PLOS ONE (USA)

尾島俊之 1 回 Journal of Epidemiology (Japan)

尾島俊之 1 回 International Journal of Health Geographics (UK)

尾島俊之 1 回 Geriatrics and Gerontology International (Japan)

中村美詠子 1 回 Diabetes Care (USA)

中村美詠子 1 回 BMC Public Health (UK)

中村美詠子 1 回 Journal of Epidemiology (Japan)

早坂信哉 1 回 Journal of Occupational Health (Japan)

早坂信哉 1 回 J Jpn Soc Balneol Climatol Phys Med (Japan)

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
（1）国際共同研究	1 件
（2）国内共同研究	12 件
（3）学内共同研究	0 件

（1）国際共同研究

1. JA EHLEIS (Joint Action European Health and Life Expectancies Information System), INED (Institut National d'Etudes Démographiques, France), INSERM (Institut national de la santé et de la recherche médicale, France), 2011-2014, 資料の交換・会議での検討, UC (European Commission)

(2) 国内共同研究

1. NIPPON DATA 研究, 三浦克之 (滋賀医科大学社会医学講座), 他
2. JAGES (日本老年学的評価研究), 地域在住高齢者の要介護発生に関わる要因に関する追跡研究, 心理社会面に着目した認知症の予防的社会福祉に向けた縦断研究, 近藤克則 (日本福祉大学社会福祉学部), 竹田徳則 (星城大学)
3. 健康の社会的決定要因に関する研究, 近藤克則 (日本福祉大学), 橋本英樹・近藤尚己 (東京大学大学院), 高尾総司 (岡山大学大学院), 藤原佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所), 稲葉陽二 (日本大学法学部)
4. 三ヶ日町研究, 杉浦実 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所)
5. 高機能みかんジュースに関する介入研究, 杉浦実 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所), 他
6. 職域・学校における自閉症スペクトラムに関する研究, 早川徳香 (南山大学)
7. 大学生の食生活に関する研究, 亀山良子 (甲子園大学)
8. 健やか親子 21 に関する研究, 山縣然太郎 (山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座), 他
9. 健康寿命に関する研究, 橋本修二 (藤田保健衛生大学医学部衛生学講座)、辻一郎 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座)
10. 質の高いサービスを提供するための地域保健行政従事者の系統的な人材育成に関する研究, 橘とも子 (国立保健医療科学院), 他
11. 東日本大震災等の大災害と保健医療統計の分析・評価・推計に関する研究, 橋本修二 (藤田保健衛生大学), 坂田清美 (岩手医科大学), 早川岳人・林正幸 (福島県立医科大学), 山縣然太郎 (山梨大学大学院), 村上義孝 (滋賀医科大学), 他
12. 災害における公衆衛生的な活動を行う支援組織の創設に係る研究, 高野健人・大友康裕 (東京医科歯科大学), 中村好一 (自治医科大学), 山縣然太郎 (山梨大学大学院), 押谷仁 (東北大学大学院), 金谷泰宏 (国立保健医療科学院), 他

(3) 学内共同研究

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. JAGES (日本老年学的評価研究) プロジェクト

日本福祉大学の近藤克則教授が中心となって進めている JAGES (Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究) プロジェクトに, 当講座も関わっている。本研究は 1999 年に愛知県の 2 自治体で始まり, 2013 年には北海道から沖縄までの 30 自治体 10 万人超の大規模コホートとなった。(尾島俊之, 中村美詠子, 仲村秀子, JAGES プロジェクト, 日本福祉大学健康社会研究センター)

2. 健康の社会的決定要因に関する研究

厚生労働科学研究費補助金 (地球規模保健課題推進研究事業) 「健康の社会的決定要因に関する

研究」(研究代表者 浜松医科大学健康社会医学講座 尾島俊之教授)を実施している。最近、国際的にも注目されている健康の社会的決定要因に関する総合的な研究として、(1) 国内外の情報収集、(2) 個人・地域データの調査・分析、(3) 新たな対応方策の創出、(4) 対策の試行、(5) 情報の国内外への発信の5本の柱で研究を進行している。(尾島俊之, 日本福祉大学, 東京大学大学院, 岡山大学大学院, 東京都健康長寿医療センター研究所, 日本大学法学部)

3. 健康寿命に関する研究

厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究事業))「健康日本21(第二次)の推進に関する研究」(研究代表者 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座 辻一郎教授, 研究分担者 藤田保健衛生大学医学部衛生学講座 橋本修二教授)に参画している。当講座では、健康寿命の国際的な指標化に関する検討を担当している。本研究の成果は、国の健康日本21(第二次)の策定、推進に活用されている。(尾島俊之, 藤田保健衛生大学, 東北大学大学院)

4. NIPPON DATA 研究

厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究事業))「社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究:NIPPON DATA 80/90/2010」(研究代表者 滋賀医科大学社会医学講座 三浦克之教授)の分担研究として実施した。当講座では、NIPPON DATA 2010の社会的要因分析、脂質異常症に影響する要因の変化などを担当している。(尾島俊之, 中村美詠子, 野田龍也, 近藤今子, 滋賀医科大学など)

5. JA EHLEIS (Joint Action European Health and Life Expectancies Information System, 健康・平均寿命情報システムに関する欧州共同事業)

JA EHLEIS は、欧州委員会(UC, European Commission)とほとんどの欧州連合(EU)加盟各国の共同、さらに米国、日本の参画による、2011~2014年までの予定のプロジェクトである。Dr. Jean-Marie Robine (Institut national de la santé et de la recherche médicale, France, フランス国立衛生医学研究所)を中心として、(1) 平均寿命及び健康寿命の共同分析及び統合のための中心基地となり、欧州の人々の寿命の検討に質的な向上の側面を加えることに資すること、(2) 加盟国間の格差の状況を明らかにすること、(3) 各国及び欧州全体での公衆衛生戦略における今後の重点を明らかにすることの3つを主な目的として検討を行っている。日本を代表して、このプロジェクトに参加している。(尾島俊之)

6. 三ヶ日町研究

三ヶ日町研究は独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所カンキツ研究領域(研究代表者 杉浦実流通利用・機能性・栽培生理研究ユニット長)との共同研究である。みかんに多く含まれるβクリプトキサンチン等の抗酸化栄養素の健康影響を明らかにすることを主な目的として、みかん産地の住民(浜松市三ヶ日町)を対象として平成15年度に開始した。本年度は

10年後の追跡調査を実施し、基礎的検討を行った。今後さらに詳細な縦断解析を行う予定である。
(中村美詠子)。

7. その他の研究

アセット・モデルによる公衆衛生施策に関する研究、食に関する社会的弱者対策：フード・インセキュリティに関する探索的研究、小児におけるうがいと感染症の予防等に関する実証研究、救急医療体制の推進に関する研究、健やか親子21に関する研究、東日本大震災等の大災害と保健医療統計の分析・評価・推計に関する研究、災害における公衆衛生的な活動を行う支援組織の創設に係る研究、質の高いサービスを提供するための地域保健行政従事者の系統的な人材育成に関する研究などを実施した。

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

14 研究の独創性、国際性、継続性、応用性

1. JAGES プロジェクトは、公衆衛生学のみならず、社会学、経済学、地理学などの研究者が名を連ねるなど学際的である。また、所得や教育と健康の関連についても検討を加えるなど独創的な視点から研究が進められている。一般高齢者10万人以上を対象にした社会疫学に関するコホート研究は、国内外でも貴重である。この一環として、米国ハーバード大学や、イギリス、スウェーデンとの共同研究も行っている。この研究は、根拠に基づく保健医療政策立案に向け、基礎的データの提示を目標としているが、政策に直結するような実証研究への期待は今後ますます高まると思われ、研究の継続性、政策への応用性が見込まれる。
2. 三ヶ日町研究は、 β クリプトキサンチン摂取量の多いみかん産地住民を対象として、血清 β クリプトキサンチンを評価しているコホート研究であり国際的にも他に見当たらない。さらに β クリプトキサンチンの効果を検証するための新たな介入試験を開始し、研究を発展させている。
3. JA EHLEIS (Joint Action European Health and Life Expectancies Information System, 健康・平均寿命情報システムに関する欧州共同事業)は、欧州を中心としながら、米国、日本も参画した国際的な共同研究事業である。健康寿命算定の国際的なハーモナイゼーション、新しい総合健康指標の開発を目指している。

15 新聞、雑誌等による報道

1. 尾島俊之「小児難病成人患者5万人」読売新聞、2013年4月22日
2. 尾島俊之「小児難病、成人後も治療継続5万人・・・厚労省調査」YOMIURI ONLINE、2013年4月22日
3. 尾島俊之「小児難病、成人後も治療継続5万人・・・厚労省調査」yomiDr. 2013年4月22日
4. 尾島俊之「震災時に役立つ医の知識、普段から高めておく」中日新聞 2013年5月2日
5. 尾島俊之「小児難病の成人患者 推計約5万人」NHK NEWSWEB. 2013年5月7日

6. 尾島俊之「震災時に役立つ医の知識，家庭の備えも不可欠」中日新聞 2013 年 5 月 16 日
7. 尾島俊之「ミカンで骨の健康公開講座に 400 人，浜松で栄養改善学会」静岡新聞 2013 年 7 月 2 日
8. 杉浦実，中村美詠子「骨粗しょう症に効果」日本農業新聞 2013 年 7 月 6 日
9. 尾島俊之「社会環境の整備を掛川で医師ら発表 東海公衆衛生学会」静岡新聞 2013 年 7 月 21 日
10. ふじのくに地域医療支援センター，健康社会医学講座「医師確保へ見学ツアー」静岡新聞 2013 年 9 月 7 日
11. 杉浦実，中村美詠子「三ヶ日で疫学調査 10 年目」中日新聞 2013 年 9 月 18 日
12. 杉浦実，中村美詠子「みかんの病気予防検証」静岡新聞 2013 年 9 月 19 日
13. 中村美詠子「みかん 4 個で骨粗しょう症予防」静岡新聞びぶれ 2013 年 11 月 14 日
14. 中村美詠子「三ヶ日町研究特別レポート第 1 回」JA みっかび組合便り 2013 年 12 月
15. 中村美詠子「三ヶ日町研究特別レポート第 2 回」JA みっかび組合便り 2014 年 1 月
16. 中村美詠子「三ヶ日町研究特別レポート第 3 回」JA みっかび組合便り 2014 年 2 月
17. 中村美詠子「特集新しいみかんの研究」JA みっかび組合便り 2014 年 3 月